

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター（大阪府羽曳野市）

機器名	仕様	台数
ガスエンジン 発電機	発電出力：796kW 燃料：都市ガス(13A) 設置年：2007年	1台
排ガス ボイラー	常用圧力：0.8MPa 蒸気発生量：605kg/h	1台

1952年に開院、2003年には現在の「大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター」と名称変更。同センターは、呼吸器疾患、アレルギー疾患、結核医療のセンター機能を果たす病院である。

ESCO事業の一環としてコージェネレーションシステムを導入した。

(2007年度CGC賞 民生用部門 会長賞受賞)

- ▶ 排熱回収形態：蒸気・温水
- ▶ 排熱利用用途：ボイラ給水加熱・暖房・病院内蒸気
- ▶ 有効発電効率：37.3%
- ▶ 排熱利用効率：(蒸気) 20.1%、(温水)：13.0%
- ▶ 総合効率：70.4%



出典：大阪府ホームページ(上) 及び 日本コージェネレーションセンター優良CGC賞(下)